

セキュリティ対策情報流通の必要性

JNSA 研究員 兼 セキュリティ対策推進協議会 事務局
関 義和

■ 徹底されないセキュリティ対策

現在、多くの企業や団体では事業を支えるデータを蓄積・処理するコンピューターシステムを守るため多くの費用と労働力を割き、セキュリティ対策に努めています。その甲斐あってシステム管理者が管理するコンピューターがダウン、情報が漏洩するなどの危険性は確実に減っているようです。

しかし、一部のシステムでは対応が不十分なままとなっているようです。ファイアウォールやIDSのログを読む限り、国内のIPアドレスからも相当数のウイルスやワーム感染がうかがえます。

また、ユーザー個人の端末として使われるPCについてもセキュリティ対策は難しいのが実際です。集中管理によるセキュリティ対策が行える組織はまだ限られており、個人の資質に影響されるところが大きいままです。最近の個人情報漏洩事件の多くはユーザーの端末を原因としていることから、今後も対策が必要な部分です。

さらに、家庭を中心とした個人ユーザーにいたってはさらに深刻な状態でしょう。エンジニアに限らず、知人友人に頼まれてPCの操作を教える際に、ウイルス対策ソフトウェアの更新期限が切れたままであったり、パスワードが設定されていないなどの問題を目の当たりにし、頭を抱えるような体験も少なくないのではないのでしょうか。

企業のシステムも個人のPCもインターネットを構成するメンバーです。企業は事業を続け、個人情報を守る努力をしていますが、その対となる個人のPCにセキュリティが配慮されていない現状でインターネット社会は安全で安心できる社会基盤になりません。

■ SPREAD の設立

セキュリティ対策の重要なポイントは最新の情報を元に対策を考え実行することです。ネットワーク

OSや各種ソフト/ハードウェア製品についての脆弱性対策情報については経済産業省の主導による「情報セキュリティ早期警戒パートナーシップ」が重要な役割を果たすべく今年7月より運用開始されました。独立行政法人情報処理推進機構（IPA）とJPCERTコーディネーションセンター（JPCERT/CC）を中心に運用されています。このパートナーシップが目指すのは、脆弱性の発見を起点として、速やかな修正プログラムのリリースなど対策の確立と、確立した対策の実施です。

IPAとJPCERT/CCでは脆弱性の情報を管理し、対策手段が整った段階で、脆弱性の情報とセキュリティ対策を対にしてWebなどを通して配信しています。

セキュリティ対策推進協議会（SPREAD）は情報セキュリティ早期警戒パートナーシップのメンバーとして、セキュリティ対策を実行しなければならないエンドユーザー、システム管理者、SI事業者などに情報の配信を確実にを行うことを目的としてJNSAとTelecom-ISAC Japanが中心となって設立いたしました。

■ セキュリティ対策情報の流通という方法

脆弱性についての記述やその対策方法の多くは専門的な視点から記述されているため一般のPCユーザーには理解が難しいままとなっています。PCやOSのメーカーは脆弱性情報と修正プログラムの提供を個人ユーザーにも理解してもらえようとするための努力を払っていますが、十分な効果が出てはいるとは言えない面があります。個人ユーザーはシステム管理者に比べると最新のセキュリティ事情に触れる機会が少なく、日ごろからセキュリティについて考えさせられる機会が少ないことが原因とも考えられます。従来からセキュリティ対策が重ねられてきたサーバに対して攻撃を仕掛けるよりも、フィッシングやウイルス・ワームといったクライアントPCを標的にした被

害が広がりつつあるのが現実です。

こうした個人を中心とした一般のユーザーを対象にセキュリティ情報の浸透を図るために、SPREADではサポーター制度の実現を図っています。サポーターには一般ユーザーに近い方になっていただき、一般のユーザーを支援していただく制度です。従来のようにメールやWebからの情報配信を用意するだけでは一般ユーザーに情報を届けることは困難です。そこでサポーターというユーザー支援を行う人々を組織化してご協力いただき、エンドユーザーに対して直接、以下のような、情報をより確実に伝えることができるようにしたいと考えています。

- 脆弱性の情報
 - パッチなどの対策情報
 - パッチプログラムの適用方法
 - フィッシングなどの「騙し」の流行情報
- これらの情報を身近に感じていただくことでセ

キュリティ対策の実効性を浸透させることができると考えています。サポーターにはIT普及を目的としたボランティア、PCを販売サポートする窓口など、PCの操作に詳しい方や、よく相談を受けるような方を一般ユーザーのサポーターになっていただくことを想定しています。

まとめ

情報配信は受け取り手に高い興味があれば効果的に活用されますが、関心が薄ければ情報が活用されることはありません。セキュリティの向上には情報の配信に加えて、注意点や身近な事例などの情報を流通し、興味をひきつける方策が必要でしょう。SPREADはPCやネットワークを使うすべての人が互いの安全・安心のために、新しい社会の動きを作る挑戦を行っていきます。

SPREADの位置づけ

